

1. 探究的な学習の指導のポイント（学習指導要領より抜粋・整理）

(1) 学習過程を探究的にすること

「課題の設定」

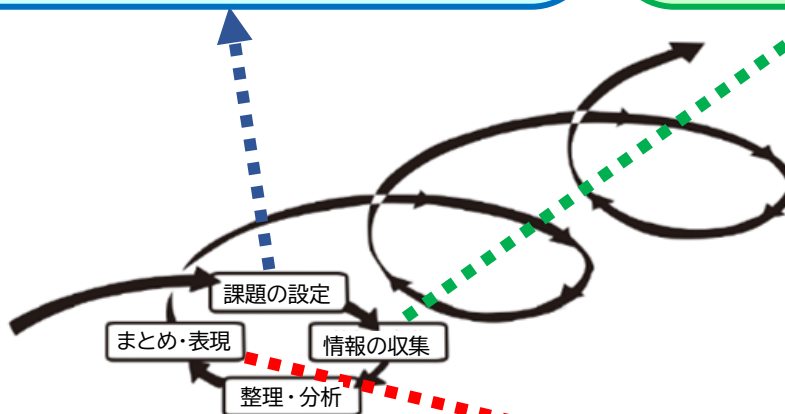
⇒ 体験活動などを通して、課題を設定し
課題意識を持たせる

- ・児童生徒が自ら課題を持つ≠教師は何もしないでじっと待つ
- ・教師が意図的な働き掛けをする
- ・学習対象との関わり方や出会わせ方を工夫する
- ・体験活動で対象に直接触れることで、興味や疑問を持たせる

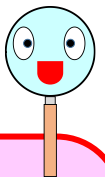
「情報の収集」

⇒ 必要な情報を取り出したり
収集したりさせる

- ・体験活動を通して、課題解決に必要な情報を収集させる
- ・体験活動の目的を明確にしながら自覚的に取り組ませる
- ・情報の種類（数値、言語、感覚）を意識した学習活動にさせる
- ・感覚的な情報は言語化するなど適切に蓄積させ、必要に応じて共有させる



このプロセスが連続的、発展的に繰り返されていくんだ！



「整理・分析」

⇒ 収集した情報を、整理したり
分析したりして思考させる

- ・入手先や、公式か個人的かなど情報の性格を踏まえて整理させる
- ・「考えるための技法」（比較、分類、序列化、類推、関連付け、原因や結果に着目など）を意識させる
- ・思考ツールで思考を可視化させ、整理・分析の質を高めるようにさせる

「まとめ・表現」

⇒ 気づきや発見、自分の考えなどを
まとめ、判断し、表現させる

- ・伝えるための具体的な方法を身に付けさせ、目的に応じて使うようにさせる
- ・相手意識や目的意識を明確にさせる
- ・情報を再構築させ、自分の考えや新たな課題を自覚させる

中学生 Aさんの活動例 テーマ：よりよい〇〇町にしよう！



	第1次 〇〇町をよりよくするために、地域の産業や取組を調べよう！	第2次 〇〇町をよりよくするために、自分たちにできることを提案しよう！	第3次 〇〇町をよ を実践しよ
課題の設定	町役場の人から町の観光に興味を持ちました	町の観光業を元気にするための課題を設定しました	
情報の収集	町役場の人に観光についてもう一度詳しい話を聞きに行きます	旅館経営者や観光客を対象にインタビューやアンケート調査をしました	
整理・分析	調査結果から町の観光業が抱える課題や背景について考えました	調査結果を基に自分たちにできることは何かを考えました	
まとめ・表現	まとめていく中で観光業をもっと元気にしたいという思いが湧いてきました	役場の人や旅館経営者などに自分たちの提案を伝え、意見を聞きました	

連続・発展

連続・発展

(2)他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

「多様な情報を活用して 協働的に学ぶ」

⇒協働的な学習を有効に機能させ、
多様な情報を適切に活用させる

- ・情報交換や教師からの問い掛けを通して考えたり話し合ったりさせる
- ・情報を改めて見詰め直し、互いの発見の共通点や相違点に気付いたり、関連性を見付けたりさせる

「力を合わせたり 交流したりして 協働的に学ぶ」

⇒相手意識や仲間意識を育む

- ・一人できないことも集団で実現できることは多いことを実感させる
- ・地域の大人などとの交流を通して、児童生徒の社会参画の意識を目覚めさせる
- ・力を合わせて取り組むことの大切さや地域社会に関わる喜びなどを実感させる

「異なる視点から考え 協働的に学ぶ」

⇒異なる視点を出し合い、検討させる

- ・収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして考えさせる
- ・調べた上で話し合い、異なる視点での意見を引き出す

「主体的かつ協働的に学ぶ」

⇒問題を自分のこととして受け止め、
よりよく解決させようとする

- ・協働的に学ぶ＝それぞれの個性を生かす
- ・それぞれの児童生徒なりに主体的に学ぶこと、協働的に学ぶことの良さを実感できるようにさせる
- ・協働性と主体性の両方をバランス良く意識させる

協働的に取り組むことが、児童生徒の学習の質を高め、探究的な学習を実現することにつながるんだ！



「探究的な学習 教師の3つのアクション」を取り入れた校内研修会の例

「つかむ」「みがく」を主なねらいとした場合

- 1 「探究的な学習の指導のポイント」について情報共有
- 2 ワークショップ
「探究的な学習の指導のポイント」を踏まえて単元構想
※過程(課題の設定、情報の収集など)ごとに分けて実施してもよい
- 3 構想の共有

「つかむ」「はしる」を主なねらいとした場合

- 1 「探究的な学習の指導のポイント」について情報共有
- 2 ワークショップ
児童生徒が実際に収集した情報を基に、どのような整理・分析が展開されていくかを想定し、指導の方向性や効果的な思考ツールなどについて意見交換
- 3 意見の共有

2. 探究的な学習の充実のために

総合的な学習(探究)の時間から見直してみませんか？

年間指導計画

行事に置き換えられている
進路指導になっている
前年度のままになっている



カリキュラム・マネジメントを軸として！

児童生徒の学習経験に配慮する

- ・児童生徒のこれまでの経験や成果を生かす
- ・経験が不足している場合には、それに応じた活動となるようにする

適切な活動時期に実施する

- ・1年間の季節や行事の流れを生かす
- ・時期と内容の両面から検討する

各教科等との関連を明らかにする

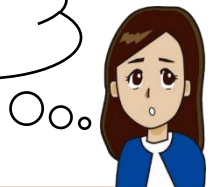
- ・各教科等で身に付けた資質・能力を把握し、総合的な学習(探究)の時間で活用させる
- ・総合的な学習(探究)の時間での活動が各教科等における学習の素材となることも考えられる

外部・異校種連携を意識する

- ・支援してくれる団体や個人に、連携・協力を求められる関係づくりをしておく
- ・異校種連携では児童生徒が必要感を持ち、互恵的な関係になるようにする

単元計画

教師主導の場面が多い
計画をこなすだけになっている
学習に深まりが見られない



より探究的に！

児童生徒の関心や疑問を生かす

- ・児童生徒の関心や疑問を見取り、把握する
- ・教師の働き掛けなどにより芽生えた新たな関心や疑問をよりどころにすることも考えられる

意図した学習を効果的に生み出す

- ・活動の向かう方向を予測し、教師はどのような働き掛けをするのか検討する
- ・幅広く、拡散的に思考を巡らせながら、教材研究を行う

学習過程を探究的にする

他者と協働して主体的に取り組ませる

1, 2 ページをご覧ください

※単元が年間を通して1つの場合は、年間指導計画と単元計画が1つにまとまる場合もあります。

総合的な学習(探究)の時間の見直しをきっかけとして、
他教科等でも探究的な学習に取り組んでいきたいね！

